



ドローンで撮影した月山富田城跡。歴史的な魅力以外にも、四季折々の自然を楽しむことができます。

特集

よみがえった 月山富田城跡

～悠久の時に思いをはせて～

中世から近世初頭にかけて出雲国の中心地として栄え、全国屈指の規模と歴史を誇る山城「月山富田城跡（以下、富田城）」。
戦国大名尼子氏とその忠臣山中鹿介の活躍などとともに語り継がれ、書籍や詩歌、祭り、また四季の彩りなどさまざまな形で親しまれ、まさに地域を象徴する存在となっています。

平成27年度から取り組んできた富田城の整備事業は令和4年3月に完了しました。樹木の伐採により、見晴しがよくなり、遺構の数々が姿を現しよみがえった富田城。手すりや遊歩道も整備し、見学しやすくなりました。また、歴史資料館内にはジオラマ模型や城の特徴を解説したパネルなどを整備。これらにより、観光資源や生涯学習の拠点として活用できる基盤が整いました。

近年の山城ブームにより市内外から多くの人が訪れています。標高約190mの山全体に防御設備を築き、要塞化された富田城。どれだけの時間をかけて築かれ、どんな思いで守っていたのか、想像するだけで悠久のときを感じるができます。

今号では富田城の「守り」にスポットをあて、その魅力を紹介します。



3

富田城では曲輪や切岸などのさまざまな守りの工夫を見ることが出来ます。「難攻不落」と言われた富田城の守りとはどんなものがあるのでしょうか。整備によって見やすくなった守りの仕組みを紹介します。

守りの基本となる区画

① 曲輪

富田城にはたくさん「曲輪」と言われる、人工的な「平らな所」があります。建物を建てたり、塀を築いたりして守りの効果を高めています。この曲輪をいくつも重ねて配置することで、攻め手を巧みに防ぎました。

見どころスポット

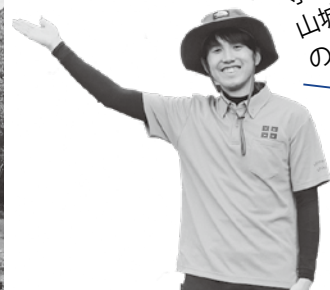
千畳平、馬乗馬場、山中御殿平、本丸

土を盛って築いた大きな壁

② 土塁

侵入を防ぐ堤防状の盛り土を「土塁」と言います。富田城では、山中御殿平の西側にある「大土塁」が見どころです。守り手からすると高さは約7mですが、裏へ回り攻め手から見ると、最大20m近くの急斜面で、まさに絶壁と言えます。

守りは山城の魅力の一つです



②大土塁（山中御殿平の近く）



①曲輪（馬乗馬場）



④石垣（三ノ丸）



③切岸（三ノ丸）



削り出した急斜面

③ 切岸

曲輪の外側を削って急斜面にすることで、攻め手が登りにくく、また守り手が上から攻撃しやすくなるもので、これを「切岸」と言います。単純な加工ですが、攻め手の攻撃を断ち切る大きな効果があり、富田城の各所に見られます。

見どころスポット

本丸、二ノ丸、三ノ丸、花ノ壇

石を重ねて築いた高い壁

④ 石垣

安土桃山時代から江戸時代になると、それまでの土塁から発展して、「石垣」が盛んに築かれます。石垣づくりは手間がかかりますが、土塁よりも強く、高くなるとともに、その上に瓦葺き建物を築くことができるようになります。

富田城にもたくさんあり、吉川広家が石垣を築き始めたと言われています。また堀尾氏も石垣は富田城の歴史の終盤を彩る守りの仕組みです。

見どころスポット

二ノ丸、三ノ丸、山中御殿平、千畳平



険しい登り道

⑤七曲り

山中御殿平から山頂へ登る道は「七曲り」と呼ばれる急峻な道です。上から攻撃されると、とても攻め上がることはできません。道の左右にある曲輪からも、攻撃できるようになっています。

「七曲り」は富田城が「難攻不落の城」であることを象徴する存在です。



⑤七曲り



整備が進むにつれ、見学者の増加、関連グッズの開発、現地ガイドの養成、環境保全活動の推進など、さまざまな成果や波及効果が表れています。

地域のシンボルとして、いっそう魅力を増した富田城。遺構を生かして整備した山城へ、足を運んでみませんか。

ガイドツアー参加者の声

富田城と歴史資料館のリニューアルを記念して行ったガイドツアー。その参加者に感想を聞きました。

- ・平原館長のユーモアを混ぜたとてもわかりやすい説明とちようどよいタイミングでの休憩があり、富田城をととても良く理解できました。急傾斜の七曲りもありましたが、楽しく登ることができました。
- ・富田城の素晴らしさに感激したので、また違う季節に来てみたいと思います。
- ・個人で歩いていたら知ることのできないわかりやすく楽しい解説付きで参加して良かったです。また違う視点での解説付きツアーがあれば城跡や周辺を歩いてみたいと思います。



千畳平からの眺望を楽しむ参加者(4月3日)。

城の特徴を分かりやすく ガイドンス施設が完成

歴史資料館内にあるガイドンス施設では、富田城の歩みや見どころなどをパネルで紹介するコーナーや城の移り変わりを復元した2種類（尼子時代・堀尾時代）のイラストを新設しました。また、精巧なジオラマ模型の展示により、富田城の地形の見える化を図りました。当時の様子を“見える化”することによって、富田城の歴史を知ることができます。

ガイドンス施設を見学した後は、実際に富田城へ登り、体感してみませんか。

開館時間 9時30分～17時
休館日 毎週火(祝日の場合は翌日)
料金 ○1階ガイドンス 無料
○2階展示 ▼一般210円▼
高大生100円▼小中学生30円

ぜひ
お越し
ください



歴史資料館 平原館長

問い合わせ 歴史資料館 ☎32-2767

定時ガイド 富田城をめぐるコース

豊かな自然と歴史を地元のガイドが案内します。当日受け付けですが、10人以上で参加する場合は7日前までに予約してください。

日時 4～11月の毎週土

10時30分～12時30分

料金 1人500円(高校生以上)

コース 歴史資料館(スタート、富田城のジオラマなどを見学)→千畳平(斜面に張り出す大規模な石垣は必見)→太鼓壇(山陰の麒麟児、山中鹿介の銅像を見学)→花ノ壇(復元建物の休憩施設で一休み)→山中御殿平(城主の居館があったと見られる場所)→七曲り(屈曲しながら続く急峻な登山道)→三ノ丸・二ノ丸・本丸(山頂部からの眺望は必見)

問い合わせ

安来市観光協会 ☎23-7667

中学生
以下無料

